

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 49 週（12 月 2 日～12 月 8 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症		報告なし	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3 人	類型 患者 2 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 2 人、O26 1 人
四類感染症	E 型肝炎	1 人	推定感染地域 国内
	レジオネラ症	1 人	病型 肺炎型
五類感染症	アメーバ赤痢	1 人	病型 腸管アメーバ症
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5 人	菌種 <i>Enterobacter</i> sp. 1 人、 <i>Escherichia</i> sp. 1 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 2 人、 <i>Serratia</i> sp. 1 人
	急性脳炎	3 人	病原体 マイコプラズマ 2 人、 不明 1 人
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 人	病型 孤発性
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 人	
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人	
	梅毒	9 人	病型 早期顕症Ⅰ期 4 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人、 無症状病原体保有者 4 人
	百日咳	2 人	年齢階級 30 歳代 1 人、40 歳代 1 人

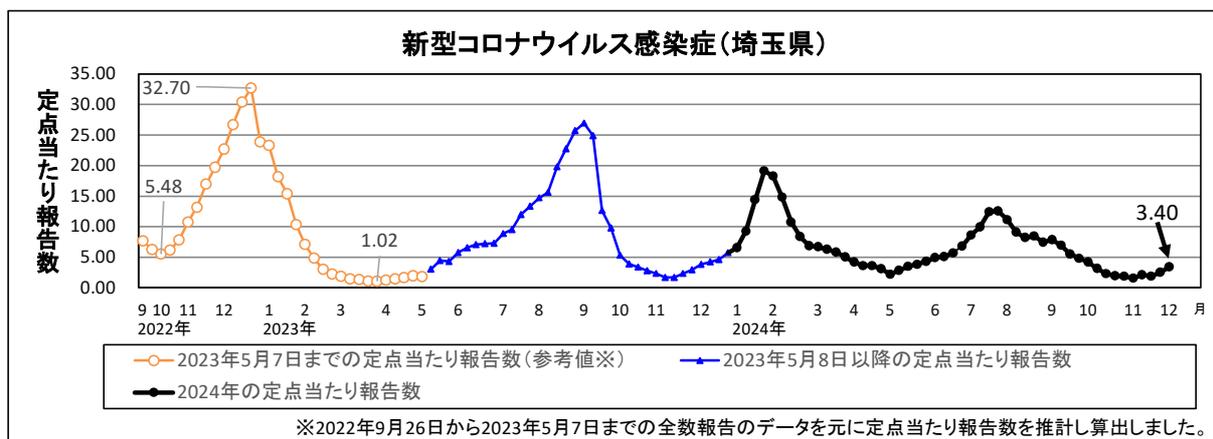
＜定点把握対象疾患の患者情報＞

新型コロナウイルス感染症（2.48→3.40:図1）の定点当たり報告数は、前週に引き続きわずかに増加した。保健所別では、幸手（6.57）、秩父（6.20）保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は36人（前週25人）であった。インフルエンザ（5.52→9.74:図2-1～4）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、県内全17保健所管内中、16保健所管内で前週の値を上回り、鴻巣（8.37→17.11）、幸手（7.86→17.07）、朝霞（7.26→15.35）保健所管内で大きく増加した。伝染性紅斑（3.49→3.38:図3-1,2）の定点当たり報告数は、前週と同水準で、非常に多い状況にある。保健所別では、引き続き南部（9.60）保健所管内からの報告が多い。基幹定点報告疾患の一つであるマイコプラズマ肺炎（図4）は、41人（前週49人）の報告があり、依然として多い状況が続いている。年齢階級別では、14歳以下の患者が全体の約80%であった。手足口病（4.05→2.68）の定点当たり報告数は、第42週以降減少傾向にある。保健所別で見ると、南部（6.80）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎7人、流行性角結膜炎36人の報告があった。マイコプラズマ肺炎を除く基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎1人、インフルエンザ（入院）25人（前週12人）（図2-4）の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idschtml/>）で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第49週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第49週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザウイルスの定点当たり報告数の推移

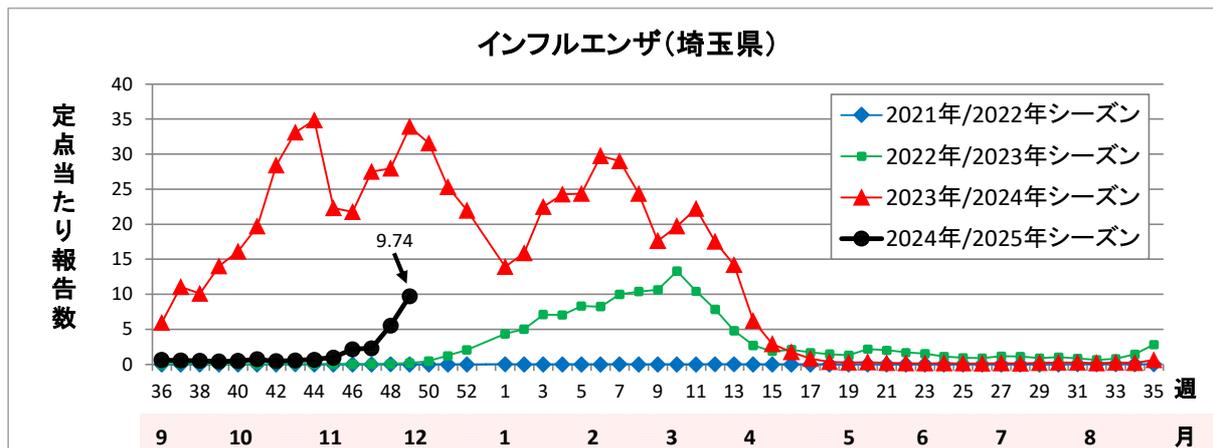


図2-2 インフルエンザウイルスの保健所別流行状況の推移（2024年第47週～第49週）



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

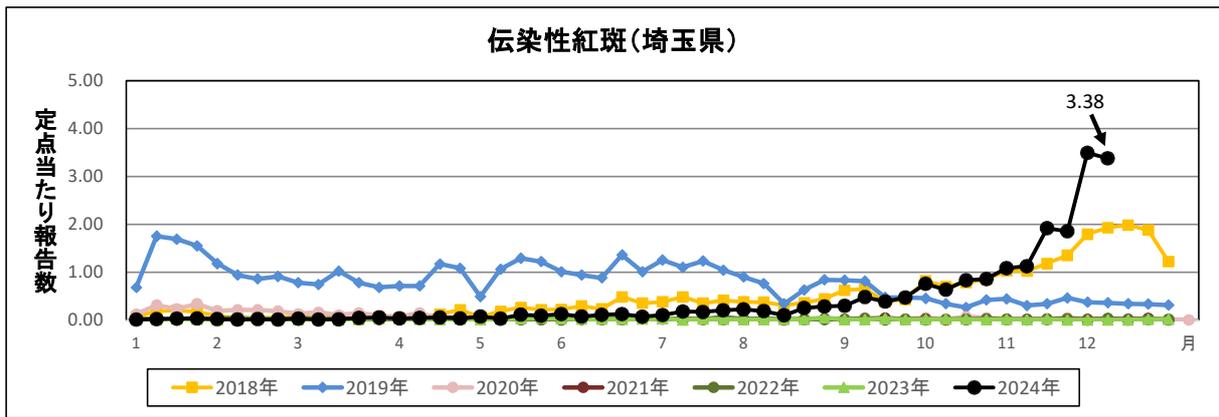


図 3-2 伝染性紅斑の保健所別流行状況の推移 (2024年第47週~第49週)

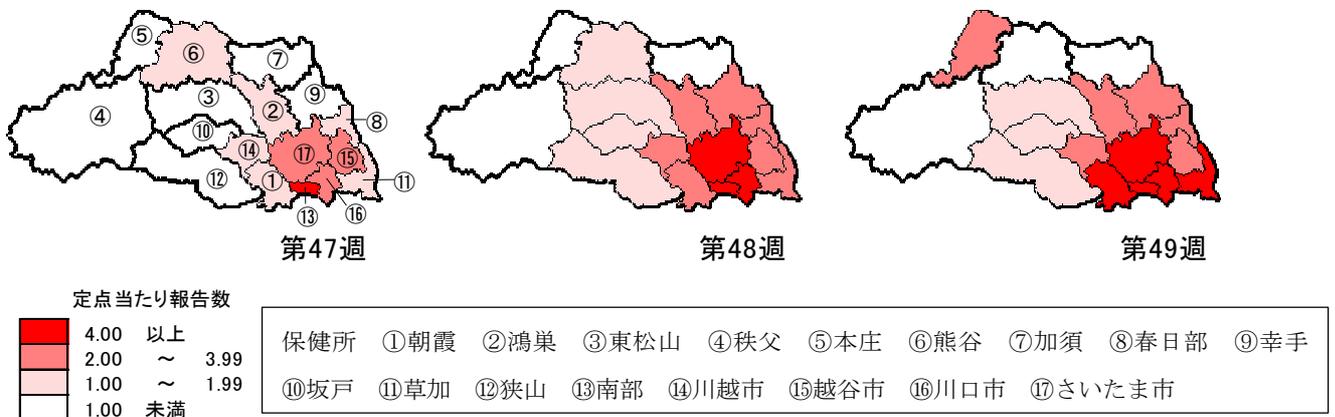
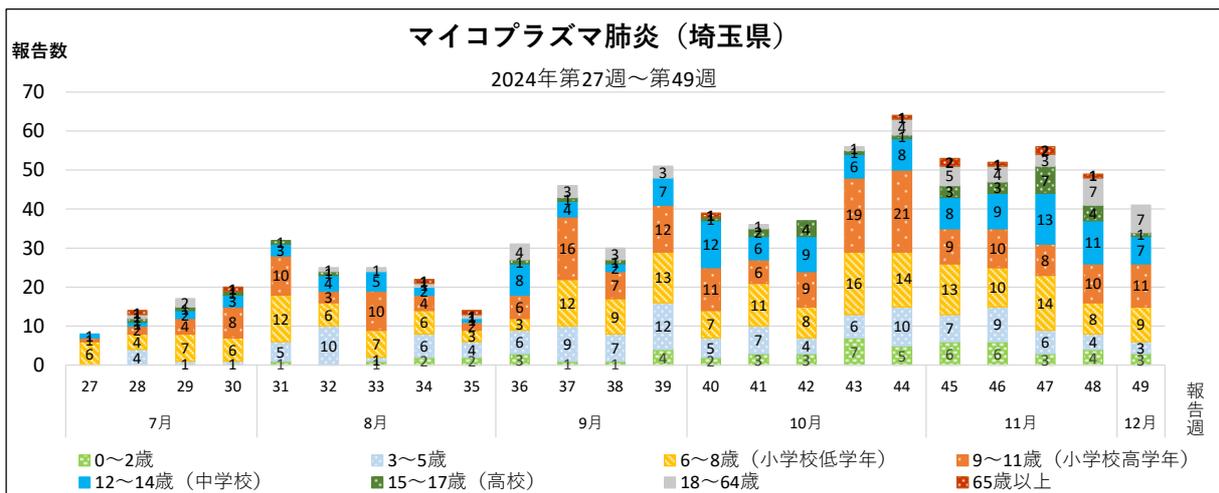


図 4 マイコプラズマ肺炎の報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第49週)

(2024年12月10日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	3	171			
四類感染症					
E型肝炎	1	36	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		1
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	1	128
つつが虫病		2	レプトスピラ症		1
デング熱		11	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	24	侵襲性肺炎球菌感染症	1	90
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		16	水痘(入院例に限る)		5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	100	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	9	437
急性脳炎	3	26	播種性クリプトコックス症		8
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		107	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		31	百日咳	2	155
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	25	麻しん		8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第49週

12月2日~12月8日)

保 健 所	報告数 #1	インフル エンザ	新型 コロナ ウイル ス感 染症	RS ウイ ルス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎 #2	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 #3	感 染 性 胃 腸 炎 (ロ タ ウ イ ル ス)	イン フル エン ザ (入 院)	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症	(入 院)
全 県	2,543	887	54	111	491	794	64	440	554	38	12	9	7	36	-	1	41	-	-	25	36		
	9.74	3.40	0.33	0.68	2.99	4.84	0.39	2.68	3.38	0.23	0.07	0.05	0.17	0.86	-	0.08	3.42	-	-	2.08	3.00		
朝 霞	353	74	5	6	65	84	9	27	68	1	1	-	-	2	-	-	12	-	-	4	1		
	15.35	3.22	0.33	0.40	4.33	5.60	0.60	1.80	4.53	0.07	0.07	-	-	0.50	-	-	12.00	-	-	4.00	1.00		
鴻 巣	325	59	2	14	48	28	-	25	45	4	-	1	-	5	*	*	*	*	*	*	*	*	
	17.11	3.11	0.17	1.17	4.00	2.33	-	2.08	3.75	0.33	-	0.08	-	1.67	*	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	51	17	-	-	9	23	-	10	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6.38	2.13	-	-	1.80	4.60	-	2.00	1.80	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秩 父	17	31	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3.40	6.20	-	-	1.00	-	-	0.33	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	
本 庄	33	16	-	3	-	1	7	10	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	4.71	2.29	-	0.75	-	0.25	1.75	2.50	2.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊 谷	78	42	-	4	11	38	1	26	3	5	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	2	3	
	6.00	3.23	-	0.50	1.38	4.75	0.13	3.25	0.38	0.63	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	2.00	3.00	
加 須	48	27	1	2	4	7	3	18	4	-	-	-	-	2	-	-	6	-	-	6	2		
	4.80	2.70	0.17	0.33	0.67	1.17	0.50	3.00	0.67	-	-	-	-	2.00	-	-	6.00	-	-	6.00	2.00		
春 日 部	55	52	3	6	30	45	-	22	19	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
	5.50	5.20	0.50	1.00	5.00	7.50	-	3.67	3.17	0.17	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	239	92	10	17	8	20	-	26	20	2	1	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*	*	
	17.07	6.57	1.11	1.89	0.89	2.22	-	2.89	2.22	0.22	0.11	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	50	53	-	5	5	30	3	7	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	
	5.00	5.30	-	0.83	0.83	5.00	0.50	1.17	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.00	
草 加	265	64	1	1	30	59	-	37	48	5	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
	13.95	3.37	0.08	0.08	2.50	4.92	-	3.08	4.00	0.42	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	202	122	13	12	65	41	9	19	18	4	-	1	7	3	-	-	4	-	-	4	2		
	8.08	4.88	0.81	0.75	4.06	2.56	0.56	1.19	1.13	0.25	-	0.06	1.40	0.60	-	-	4.00	-	-	4.00	2.00		
南 部	44	28	3	13	39	46	2	34	48	2	7	1	-	-	-	-	3	-	-	-	5		
	5.50	3.50	0.60	2.60	7.80	9.20	0.40	6.80	9.60	0.40	1.40	0.20	-	-	-	-	3.00	-	-	-	5.00		
川 越 市	138	58	1	2	40	26	8	11	30	3	2	2	-	3	*	*	*	*	*	*	*	*	
	9.86	4.14	0.13	0.25	5.00	3.25	1.00	1.38	3.75	0.38	0.25	0.25	-	1.50	*	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	128	43	1	2	14	37	1	22	18	2	-	-	-	1	-	1	4	-	-	-	3		
	9.85	3.31	0.13	0.25	1.75	4.63	0.13	2.75	2.25	0.25	-	-	-	0.50	-	1.00	4.00	-	-	-	3.00		
川 口 市	254	45	2	6	41	135	3	47	63	3	-	2	-	6	-	-	-	-	-	4	-		
	12.70	2.25	0.15	0.46	3.15	10.38	0.23	3.62	4.85	0.23	-	0.15	-	1.50	-	-	-	-	-	4.00	-		
さいたま市	263	64	12	18	79	174	18	98	146	3	1	2	-	9	-	-	12	-	-	5	8		
	6.12	1.49	0.43	0.64	2.82	6.21	0.64	3.50	5.21	0.11	0.04	0.07	-	1.00	-	-	12.00	-	-	5.00	8.00		

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第49週 12月2日～12月8日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	2,543	2	21	63	54	87	78	90	101	159	163	164	602	196	141	145	208	142	67	41	19	
新型コロナウイルス感染症	887	4	5	9	10	6	3	3	14	2	4	9	46	61	91	75	109	135	87	102	112	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	54	5	12	21	5	5	4	-	-	1	-	-	1	-	-							
咽頭結膜熱	111	2	1	29	13	16	13	10	7	6	4	3	4	1	2							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	491	-	-	9	18	30	48	60	52	62	45	39	100	6	22							
感染性胃腸炎	794	2	30	77	81	73	78	71	57	66	46	43	110	15	45							
水痘	64	-	1	3	3	2	5	3	3	3	9	7	24	-	1							
手足口病	440	3	15	65	66	57	60	62	45	10	16	18	21	1	1							
伝染性紅斑	554	-	3	12	29	57	66	84	103	60	55	44	40	1	-							
突発性発しん	38	-	6	23	5	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	12	-	-	1	3	5	1	-	-	-	1	-	1	-	-							
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	-	-	-	2	1	3	-	1	1	-	1							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	7	-	-	-	-	-	-	1	3	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	36	-	-	3	2	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	6	6	2	2	2	3	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	41	-	4	17	12	1	-	2	1	-	1	-	2	-	1	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	25	1	1	5	1	-	-	-	-	-	1	-	1	2	1	3	9					
新型コロナウイルス感染症(入院)	36	1	-	1	-	-	-	-	1	1	-	1	2	-	-	1	28					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第47週 (11月18日～11月24日)

令和6年12月11日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は福岡県(5.79)、山形県(5.65)、沖縄県(5.52)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は225例と前週と比較して増加した。都道府県別では41都道府県から報告があり、年齢別では0歳(4例)、1～9歳(67例)、10代(10例)、20代(4例)、30代(4例)、40代(5例)、50代(9例)、60代(17例)、70代(34例)、80歳以上(71例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(7.96)、岩手県(6.37)、北海道(5.50)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,138例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(18例)、1～9歳(22例)、10代(7例)、20代(10例)、30代(10例)、40代(23例)、50代(45例)、60代(122例)、70代(307例)、80歳以上(574例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は北海道(0.71)、大阪府(0.52)、群馬県(0.49)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福井県(0.76)、岩手県(0.65)、大分県(0.64)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は北海道(4.46)、宮崎県(4.06)、福岡県(3.80)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(7.17)、宮崎県(6.53)、山形県(5.61)である。手足口病の定点当たり報告数は第42週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(8.80)、沖縄県(7.34)、岩手県(6.78)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は埼玉県(1.85)、東京都(1.66)、神奈川県(1.38)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第41週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.87)、鹿児島県(0.27)、熊本県(0.24)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は岡山県(0.13)、富山県(0.07)、静岡県(0.07)である。

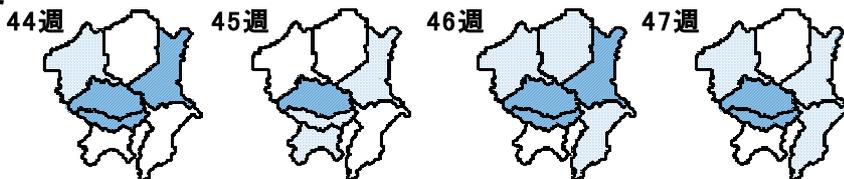
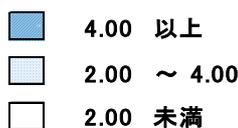
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(6.17)、愛知県(5.60)、奈良県(5.17)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。4都道府県から6例報告があり、年齢別では0歳(1例)、5～9歳(3例)、10代(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第47週(11月18日～11月24日):通巻第26巻 第47号 より

<関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、埼玉県(4.67)、東京都(4.28)からの報告が多い。

マイコプラズマ肺炎



2024年 47週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	11,678	3,602	155	101	164	595	795	1,000	792
	定点当たり	2.36	2.37	1.29	1.33	1.93	2.29	3.94	2.39	2.19
新型コロナウイルス感染症	報告数	8,948	2,308	234	147	192	482	348	415	490
	定点当たり	1.81	1.52	1.95	1.93	2.26	1.85	1.72	0.99	1.35
RSウイルス感染症	報告数	734	202	10	16	26	41	11	62	36
	定点当たり	0.23	0.21	0.13	0.33	0.49	0.23	0.09	0.23	0.16
咽頭結膜熱	報告数	883	207	22	7	20	68	24	43	23
	定点当たり	0.28	0.22	0.29	0.15	0.38	0.42	0.19	0.16	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,401	1,909	266	78	51	379	276	534	325
	定点当たり	2.04	1.99	3.55	1.63	0.96	2.33	2.17	2.02	1.42
感染性胃腸炎	報告数	9,668	2,730	151	76	174	513	330	861	625
	定点当たり	3.08	2.85	2.01	1.58	3.28	3.15	2.60	3.26	2.73
水痘	報告数	724	218	12	21	14	37	33	55	46
	定点当たり	0.23	0.23	0.16	0.44	0.26	0.23	0.26	0.21	0.20
手足口病	報告数	10,567	3,706	225	262	195	779	729	830	686
	定点当たり	3.37	3.86	3.00	5.46	3.68	4.78	5.74	3.14	3.00
伝染性紅斑	報告数	1,612	1,278	15	27	14	302	166	438	316
	定点当たり	0.51	1.33	0.20	0.56	0.26	1.85	1.31	1.66	1.38
突発性発しん	報告数	756	232	18	10	22	39	23	69	51
	定点当たり	0.24	0.24	0.24	0.21	0.42	0.24	0.18	0.26	0.22
ヘルパンギーナ	報告数	239	73	8	2	5	20	10	17	11
	定点当たり	0.08	0.08	0.11	0.04	0.09	0.12	0.08	0.06	0.05
流行性耳下腺炎	報告数	83	25	-	1	2	5	8	5	4
	定点当たり	0.03	0.03	-	0.02	0.04	0.03	0.06	0.02	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	15	7	-	-	-	6	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	0.14	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	367	145	30	15	13	15	14	13	45
	定点当たり	0.53	0.69	1.76	1.25	0.93	0.36	0.40	0.33	0.90
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	4	1	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	0.02	0.05	0.08	-	-	-	-	-	0.25
無菌性髄膜炎	報告数	13	5	-	-	-	1	1	3	-
	定点当たり	0.03	0.06	-	-	-	0.08	0.11	0.12	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	1,233	295	50	13	27	56	21	107	21
	定点当たり	2.57	3.39	3.85	1.86	3.00	4.67	2.33	4.28	1.75
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	6	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

インフルエンザの2024/2025シーズンは11月末で3か月が経過しました。この3か月間で検出されたインフルエンザウイルスの内訳は、AH1pdm09亜型が44件、AH3亜型が2件、B型（ビクトリア系統）が3件となっています。
無菌性髄膜炎では8～11月にエンテロウイルス属のウイルスが多く検出されています。最も多いのはエコーウイルス11型で12症例33件、次いでコクサッキーウイルスB3型及びエンテロウイルスA71型がそれぞれ4症例10件検出されています。

細菌検出状況

三類感染症

令和6年11月30日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(11月分)
		9月	10月	11月	
細菌性赤痢	赤痢菌	2 (1)			
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌O157	11	11	8	H7(VT2):2, H7(VT1&2):5, H-(VT1&2):1
	腸管出血性大腸菌O111		2		
	腸管出血性大腸菌その他	4	6		

コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスに関しては、()内に海外感染例を掲載

四類感染症

令和6年11月30日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(11月分)
		9月	10月	11月	
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> SG1	2	2	2	
	<i>Legionella</i> spp. (LAMP陽性)	2	1		
	その他レジオネラ属菌	3*			
レプトスピラ症	<i>Leptospira interrogans</i>	1			

*1症例から2つの血清群(*L.pneumophila* SG2及び*L.pneumophila* SG3)が検出された例を含む

五類感染症(全数把握)

令和6年11月30日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(11月分)
		9月	10月	11月	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	<i>Klebsiella aerogenes</i>	3	1		
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1		1	
	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	4	7	1	
	<i>Escherichia coli</i>	1	1		
	その他CRE	1	1		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	A群レンサ球菌(<i>Streptococcus pyogenes</i>)	3	1	4	
	B群レンサ球菌(<i>Streptococcus agalactiae</i>)	1	2	1	
	G群レンサ球菌		2	1	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i> :1

ウイルス検出状況

全数把握対象疾患

四類感染症

令和6年11月30日 現在(累計:令和6年1月～)

臨床診断名	ウイルス	採取月			
		9月	10月	11月	累計
E型肝炎	検体数	6	1	3	46
	E型肝炎	1		1	24
A型肝炎	検体数				3
	A型肝炎				
エムボックス	検体数				1
エムボックス	エムボックス				
重症熱性血小板減少症候群	検体数		1		1
	SFTS				
デング熱	検体数	5		1	17
	デング	5			9

感染症発生動向調査
2024年

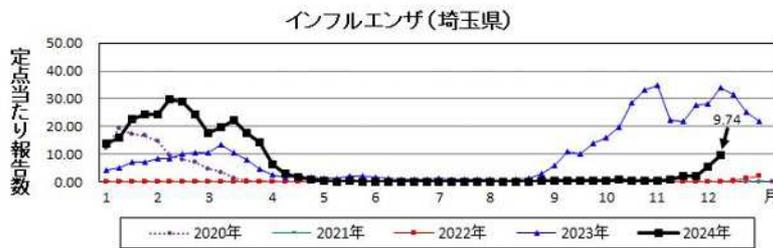
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第49週

2024年第49週（12月2日～12月8日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加しました。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	↓	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★★★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	↑	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

